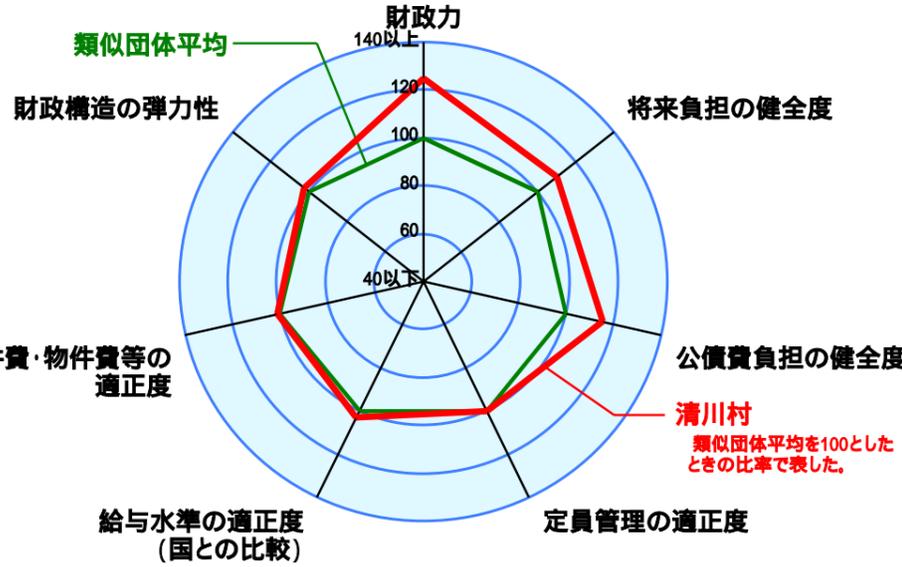
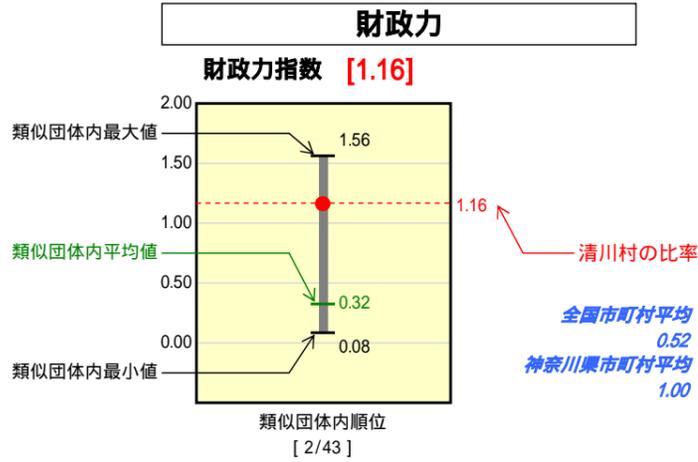


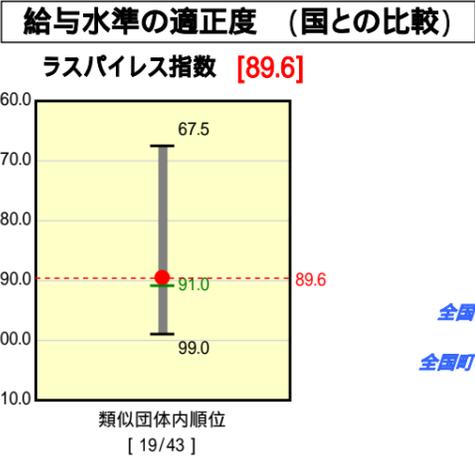
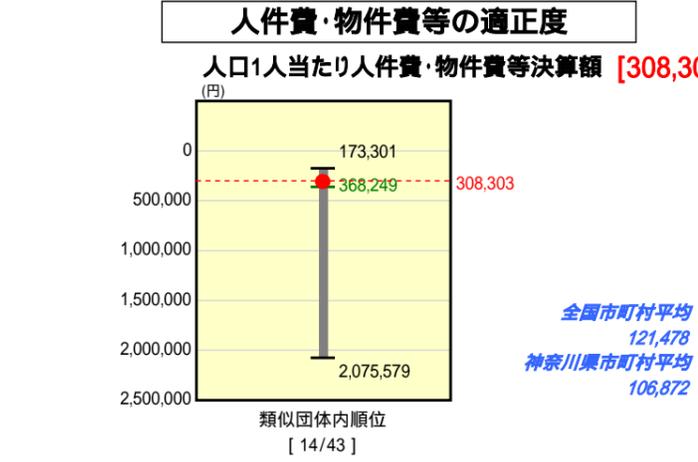
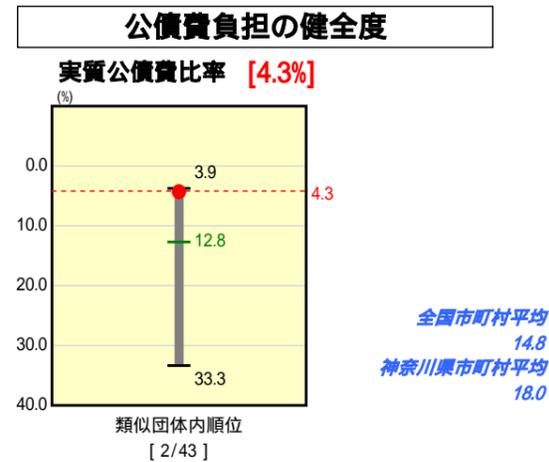
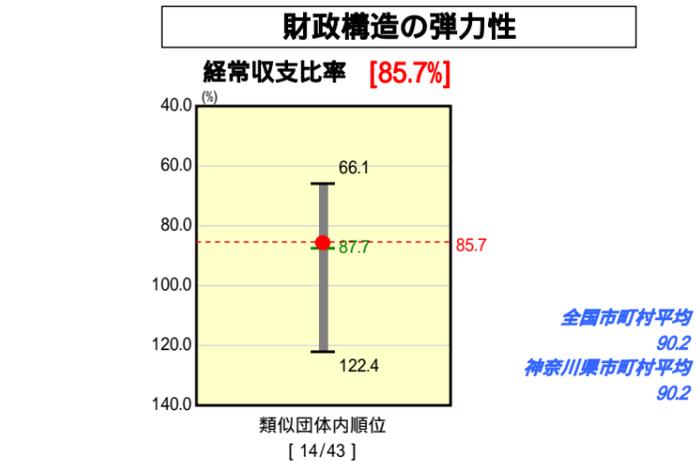
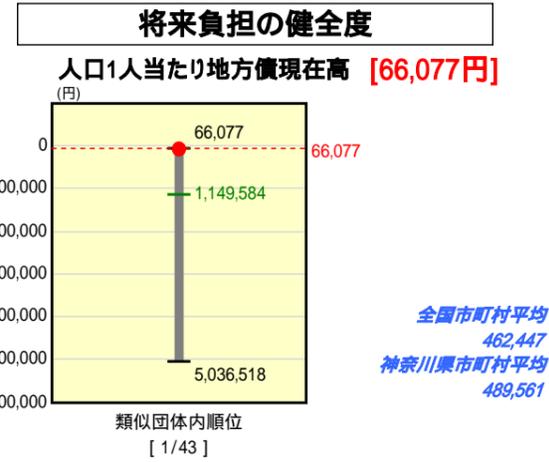
市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

神奈川県 清川村

人口	3,315人	(H18.3.31現在)
面積	71.29	km ²
歳入総額	2,137,621	千円
歳出総額	2,044,025	千円
実質収支	82,234	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】平成13年度から交付されている宮ヶ瀬ダムに伴う国有資産等所在市町村交付金が安定した財源となり、類似団体の平均と比較しても高い財政力指数となっている。

【経常収支比率】平成16年度の減税補てん償一括償還により大幅な伸びとなり、平成17年度は人件費や扶助費が増加した一方、地方税の減により経常的な予算規模は前年度と変わらず、同水準となった。類似団体の平均値と比較して下回っているものの、引き続き行政改革への取り組みを通じて事務的経費の削減に努める。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】職員の旅費や臨時職員の配置の見直しなどを行い、物件費の抑制に努めた結果、類似団体の平均と比較して低くなったものと考えられる。

【人口1人当たり地方債現在高】公債費の抑制の結果、類似団体と比較して負担が低く、健全な状態を維持している。

【実質公債費比率】5年間、起債を発生せず公債費の抑制に努めている。類似団体と比較して公債費の負担が低く、健全度が高い水準を維持している。

【人口1,000人当たり職員数】単に退職者補充を目的とした職員採用など専門分野における職員の補充以外は、採用を抑制するなど、今後も定員適正化計画に基づき適正な職員管理に努める。

【ラスパイレス指数】職員構成の変動等の理由により2ポイントの減となった。今後も給与の適正化に努める。